

平成16年度予算のあらまし

平成16年2月

東京二十三区清掃一部事務組合

目 次

1	予算編成の基本方針	1
2	歳入歳出予算のまとめ	1
3	平成16年度予算の特徴	4
4	主な事務事業の見直し	6
5	主な事業の概要	
(1)	足立清掃工場の概要	7
(2)	世田谷清掃工場建設工事の概要	8
(3)	プラント更新計画の概要	9
(4)	溶融スラグ有効利用の推進	10
(5)	中防灰溶融施設の概要	11
(6)	飛灰搬出設備整備の概要	12
[参考図]		
	平成16年度ごみの流れ	13

1 予算編成の基本方針

平成16年度予算は、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、清掃工場等の施設整備を推進するほか、これまでの実績や成果を踏まえ、事務事業の一層の効率的かつ効果的な運営に努めるとともに、安定的な事業運営を行うため、以下の5つの方針に基づき編成しました。

「一般廃棄物処理基本計画」の着実な達成を図ること。
経費の見積りにあたっては、これまでの実績を踏まえるとともに、さらなる創意工夫を図り、コスト縮減に努めること。
職員定数については、別に定める「平成16年度組織及び職員定数について」に基づき適正化を図り、より効率的かつ効果的な執行体制を構築すること。
施設の建設及び改修等にあたっては、計画的に実施するとともに、建設コストの縮減に努めること。また、実施後における維持管理費の縮減及び事業運営の効率化に十分配慮すること。
歳入の見積りにあたっては、国庫補助金について国の予算編成の動向に十分留意し、財源の積極的な確保に努めること。また、その他の自主財源についても見直しを行い、極力、増収に努めること。

2 歳入歳出予算のまとめ

平成16年度の一般会計予算の総額は、826億9,200万円となり、前年度の699億1,400万円と比較して、127億7,800万円、18.3%の増となりました。内訳は、2・3ページの表及びグラフのとおりです。

当組合予算の大きな特色は、歳出予算の約9割を清掃費が占めていることです。清掃費は、「清掃費」(清掃工場等の維持管理及び運営に要する経費)と「施設整備費」(清掃工場の建設等に要する経費)から成り立っています。

平成16年度予算は、このうち「施設整備費」が前年度に対し約100億円の増となっており、予算総額が増加した主な要因となっています。

一方の「清掃費」は、多摩川清掃工場の平年度化や足立清掃工場の本格稼働に伴う増加要因がありながらも、組織の簡素化や事務事業の見直し等により経費縮減に努めた結果、前年度に対し、約3億8,400万円の減となっています。

また、公債費は、平成13年度借入分の組合債の元金償還の開始等で、約30億8,700万円の増となっています。

歳入については、「施設整備費」の増額に伴い、その特定財源である国庫支出金や、組合債が増加しました。その一方で廃棄物処理手数料は約3億3,800万円の減収を見込んでいます。

また、公債費など所要経費の増加に伴う各区の負担増を抑制するため「財政調整基金」から28億円を繰り入れる財源対策を図りました。その結果、分担金及び負担金のうち、各区から納付される「特別区分担金」は、前年度と比較して約6,700万円の減額となりました。なお、平成16年度の歳入総額に占める割合は、46.8%となっています。

< 一般会計予算 >

歳入歳出予算		82,692,000 千円
債務負担行為	10件	23,055,000 千円
組合債	15件	14,685,000 千円

歳入歳出予算

歳 入

(単位:千円, %)

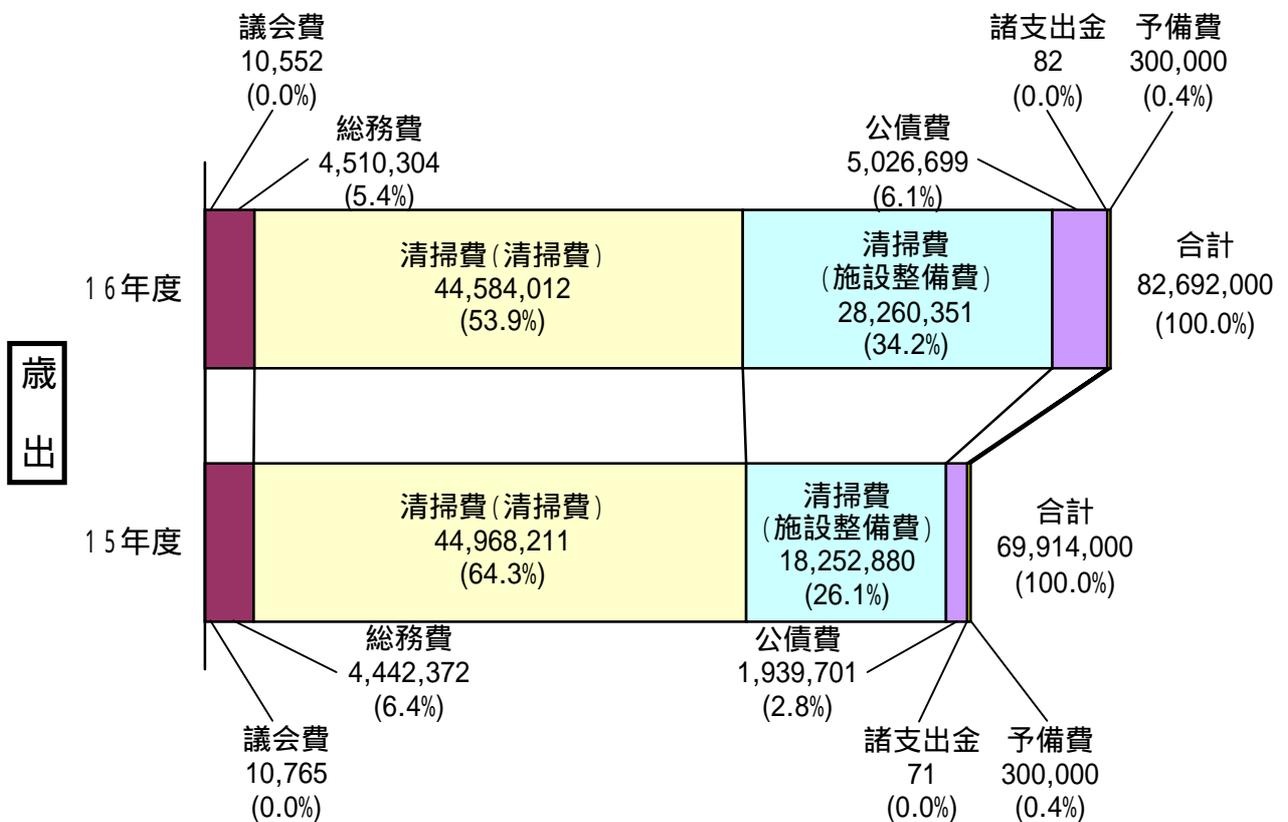
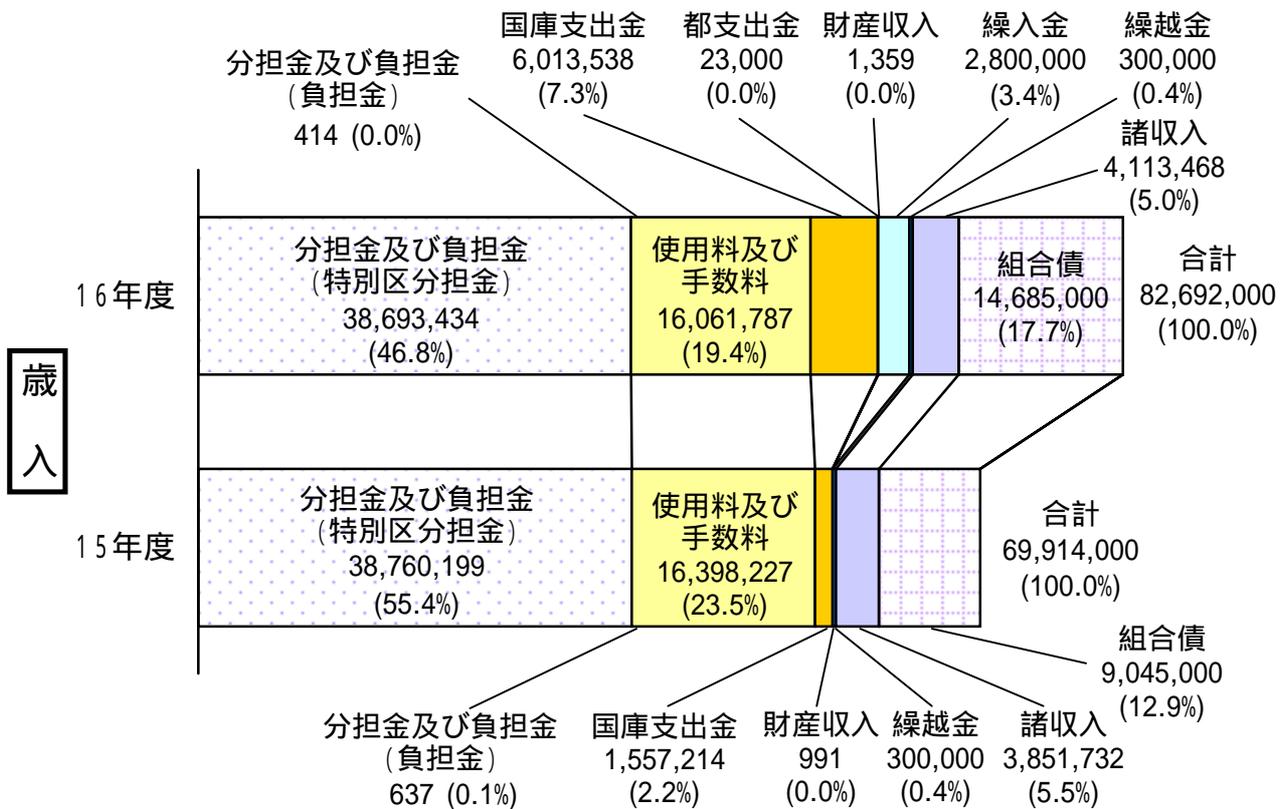
区 分	16年度予算		15年度予算		比較増()減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 分担金及び負担金	38,693,848	46.8	38,760,836	55.5	66,988	0.2
(うち特別区分担金)	38,693,434	46.8	38,760,199	55.4	66,765	0.2
2 使用料及び手数料	16,061,787	19.4	16,398,227	23.5	336,440	2.1
(うち廃棄物処理手数料)	16,055,664	19.4	16,393,486	23.4	337,822	2.1
3 国庫支出金	6,013,538	7.3	1,557,214	2.2	4,456,324	286.2
4 都支出金	23,000	0.0	0	0.0	23,000	皆増
5 財産収入	1,359	0.0	991	0.0	368	37.1
6 繰入金	2,800,000	3.4	0	0.0	2,800,000	皆増
7 繰越金	300,000	0.4	300,000	0.4	0	0.0
8 諸収入	4,113,468	5.0	3,851,732	5.5	261,736	6.8
9 組合債	14,685,000	17.7	9,045,000	12.9	5,640,000	62.4
歳入合計	82,692,000	100.0	69,914,000	100.0	12,778,000	18.3

歳 出

(単位:千円, %)

区 分	16年度予算		15年度予算		比較増()減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 議会費	10,552	0.0	10,765	0.0	213	2.0
2 総務費	4,510,304	5.4	4,442,372	6.4	67,932	1.5
3 清掃費	72,844,363	88.1	63,221,091	90.4	9,623,272	15.2
(清掃費)	44,584,012	53.9	44,968,211	64.3	384,199	0.9
(施設整備費)	28,260,351	34.2	18,252,880	26.1	10,007,471	54.8
4 公債費	5,026,699	6.1	1,939,701	2.8	3,086,998	159.1
(うち組合債元利償還金)	5,026,687	6.1	1,937,701	2.8	3,088,986	159.4
5 諸支出金	82	0.0	71	0.0	11	15.5
6 予備費	300,000	0.4	300,000	0.4	0	0.0
歳出合計	82,692,000	100.0	69,914,000	100.0	12,778,000	18.3

(単位:千円)



3 平成16年度予算の特徴

予算編成の基本方針に基づき、過去の実績等を踏まえ、事務事業の見直しや経費の縮減に努めました。一方で、今後の事業展開のために必要とされる経費については重点的に予算を配分しました。平成16年度予算の主な特徴は、以下の表のとおりです。なお、施設整備計画は、5ページの「平成16年度施設整備計画一覧」のとおりです。

(単位：千円)

項	目	金額	説明
1	清掃事業総合情報システムの改修	133,226	東京都清掃局から引き継いだ現システムは、移管後の各事業主体の分担業務とに適合を欠く場合が生じ、また、使用ソフトウェアの保証期間が終了している。このため、新たな汎用基本ソフトウェアなどの導入を行い、23区の清掃事業に適し、かつ、その運営が円滑となるよう情報システムを改修する。
2	溶融スラグの利用促進	27,026	焼却灰溶融スラグの利用を拡大するため、建設資材等として利用上の障害となる性状の調査・改善、及び利用促進PR事業を実施する。
3	災害対策の充実	35,639	震災時等における本庁・工場(所)間の連絡体制を整備するため、無線機を設置する。また、光が丘清掃工場に非常用井戸を設置するほか、震度計の更新等を行う。
4	多摩川清掃工場の平年度化及び足立清掃工場の2炉稼働	214,004	平成15年7月に稼働した多摩川清掃工場が平成16年度に平年度稼働する。また、足立清掃工場が平成17年3月から2炉稼働し、併せて灰溶融施設が稼働する。
5	北清掃工場の第二期整備	11,673	志茂ポンプ場の移転に伴い、その跡地に飛灰搬出設備の整備等の第二期工事を行う。 (平成16年度：外構整備基本調査設計、環境影響事後調査)
6	世田谷清掃工場の建設	2,986,656	世田谷清掃工場の建設に着手する。 (平成16年度：解体工事、実施設計、本体工事等)
7	ガスエンジン発電装置の設置	535,307	京浜島不燃ごみ処理センター内にガスエンジン発電装置を設置し、大田清掃工場及び不燃センターで購入する電力を軽減する。また、発生する蒸気を不燃ごみ破砕機の防爆用に利用する。

平成 1 6 年度 施設整備計画一覧

(単位：千円)

区 分	整 備 内 容	事 業 費
清掃工場の建設	工場の外構整備等二期工事に着手する。 (北) 清掃工場の建替えを行う。(世田谷) 工場用地を取得する。(渋谷)	3,545,905
清掃工場のプラント更新	ごみ処理設備の全体を更新することにより、ダイオキシン類の削減を図る。あわせて、灰溶融施設及びスラグ貯留施設を整備する。 (足立、葛飾、大井) 更新工事終了後の環境影響事後調査を行う。(多摩川)	17,359,904
灰溶融施設の建設	中央防波堤内側埋立地内に灰溶融施設を新設する。	2,552,986
清掃工場の施設整備	既設清掃工場について、施設機能の維持・向上を図るための整備を行う。 (飛灰搬出設備整備：大田ほか9工場、二度計量設備整備：大田ほか6工場、その他設備整備：杉並清掃工場灰污水处理設備整備工事ほか6件)	3,718,707
不燃ごみ処理施設の整備	中防不燃ごみ処理センターのコンパクト設備改造工事を行う。また、京浜島不燃ごみ処理センター内にガスエンジン発電装置を設置する。	772,307
粗大ごみ処理施設の整備	粗大ごみ破碎処理施設及び破碎ごみ処理施設の改修を行い、施設機能の維持・向上を図る。	283,735
中防管理施設の整備	中央防波堤内側埋立地内の工事に先立ち、埋設物等の状況を確認するための調査を行う。	6,888

4 主な事務事業の見直し

限りある財源を効率的かつ効果的に使用するため、事務事業の見直しを継続的に実施しています。

16年度予算で、見直しを行った主な事務事業は、下表のとおりです。

(単位：千円)

項 目	影 響 額	説 明
借り上げ自動車の廃止	11,994	本庁における連絡用自動車(1台)の借り上げを廃止する。
灰溶融炉運転管理の民間委託		平成17年3月に稼動する足立清掃工場の灰溶融炉の運転管理を民間事業者へ委託する。
溶融スラグの有効利用による埋立処分料の節減	38,500	溶融スラグを土木資材等へ有効利用することにより、埋立処分料の節減を図る。
不燃ごみ船舶輸送の廃止	122,450	不燃ごみ処理残さの輸送を船舶から自動車に切換え、経費の節減を図る。
大井清掃作業所管理運営の民間委託	58,099	大井清掃作業所の管理運営を民間事業者へ委託する。

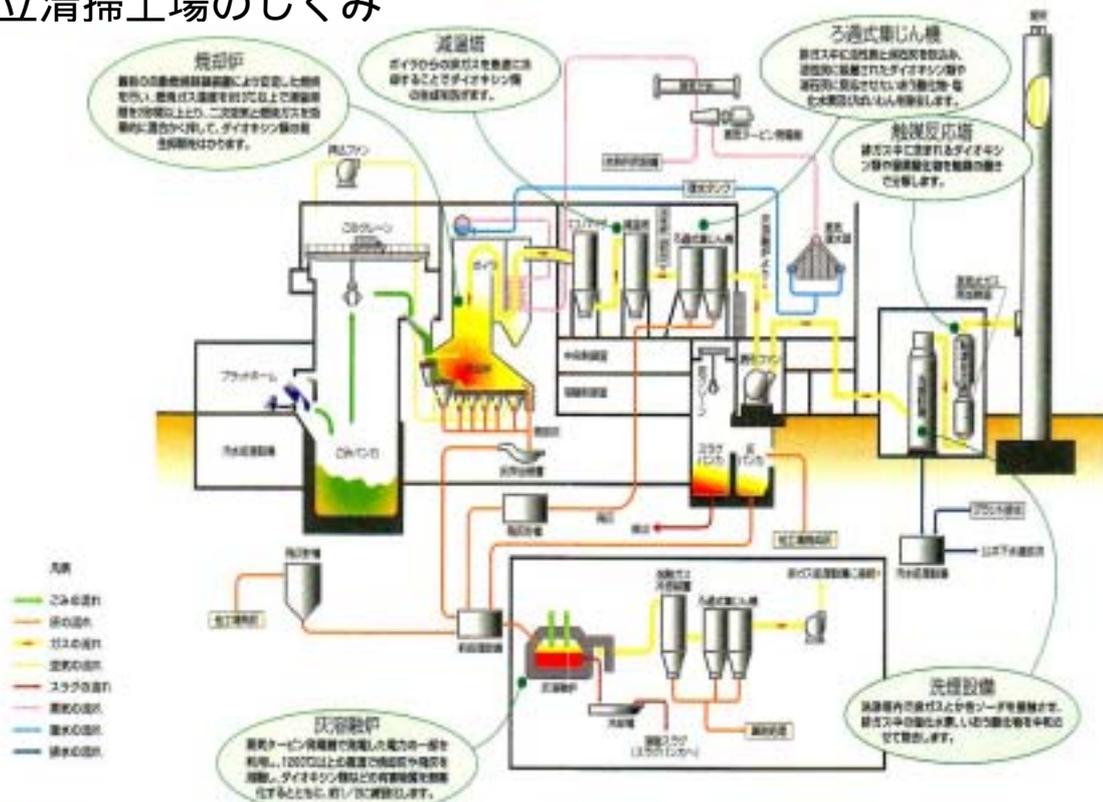
5 主な事業の概要

(1) 足立清掃工場の概要

所在地	足立区西保木間四丁目7番1号
工事期間	平成11年12月から平成17年3月
稼働予定	平成17年3月
処理能力	焼却炉 700t/日(350t/日×2基) 灰溶融炉 130t/日(65t/日×2基)
運転計画	1日24時間の連続運転
搬入ごみ量	816t/日(週6日搬入)
建築面積	約13,964㎡
工場棟	鉄筋鉄骨コンクリート造り、地上6階・地下2階
煙突	高さ 約130m
発電設備	定格出力 16,200KW

循環型社会づくりに配慮し、既存の建物を有効利用しました。
 廃棄物処理能力の確保を図るため、工場を稼働しながらプラント
 更新事業を実施しています。

足立清掃工場のしくみ



(2) 世田谷清掃工場建設工事の概要

所在地	世田谷区大蔵一丁目1番1号
工事期間	平成16年6月から平成19年12月(予定)
稼働予定	平成19年12月
処理能力	焼却炉 300t/日(150t/日×2基) 灰溶融炉 120t/日(60t/日×2基)
運転計画	1日24時間の連続運転
搬入ごみ量	350t/日(週6日搬入)
建築面積	約9,400㎡(予定)
工場棟	鉄筋鉄骨コンクリート造り、地上6階・地下2階
煙突	高さ 約100m(既存の外筒を使用)
発電設備	定格出力 6,100KW(予定)

世田谷清掃工場は、本年6月に建設工事の契約を締結する予定のため、詳細は変更となる場合があります。

世田谷清掃工場完成予想図



(3) プラント更新計画の概要

平成16年度は、下表の計画に基づき、足立・大井・葛飾清掃工場のプラント更新工事を実施します。

工場名 (焼却炉規模、 灰溶融炉規模)	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度
足立 清掃工場 (700t/日、 130t/日)								
大井 清掃工場 (600t/日、 180t/日)								
葛飾 清掃工場 (500t/日、 110t/日)								

それぞれの施設に共通する設備概要は、以下のとおりです。

焼却炉 : ごみは、最新の自動燃焼制御装置により焼却されます。燃焼ガス温度は、850 以上で滞留時間を2秒以上とり、ダイオキシン類の発生抑制を図ります。

排ガス処理設備 :

- ・ろ過式集じん器

排ガスを減温塔で急速に冷却させてダイオキシン類の再合成を防止したうえ、ダイオキシン類を含んだばいじんを効率よく捕集します。

- ・洗煙塔

排ガス中のいおう酸化物・塩化水素・水銀を、苛性ソーダ溶液等により除去します。

- ・触媒反応塔

排ガス中の窒素酸化物・ダイオキシン類を触媒の働きで分解します。

灰溶融炉 : 焼却後の灰を1200 以上の高温で加熱溶融します。ダイオキシン類は、高温で加熱処理することにより分解されます。灰は、ガラス質の固化物(スラグ)になり、容積が約2分の1になります。

(4) 溶融スラグ有効利用の推進

溶融スラグ(「スラグ」という。)は、焼却灰を1,200以上の高温で溶かし、水等により冷却して生成したガラス質の固化物のことです。

焼却灰は、スラグ化することで、ダイオキシン類を分解し、焼却灰中の重金属を封じ込めるため、無害化することができます。また、砂の代替品として建設資材等への利用が可能なことや、容積が焼却灰の約2分の1になるため、最終処分場の負荷を小さくすることができます。

当組合では、平成13年6月に定めた「焼却灰溶融スラグの利用促進等に関する方針」に沿ってスラグ利用の推進を図っています。

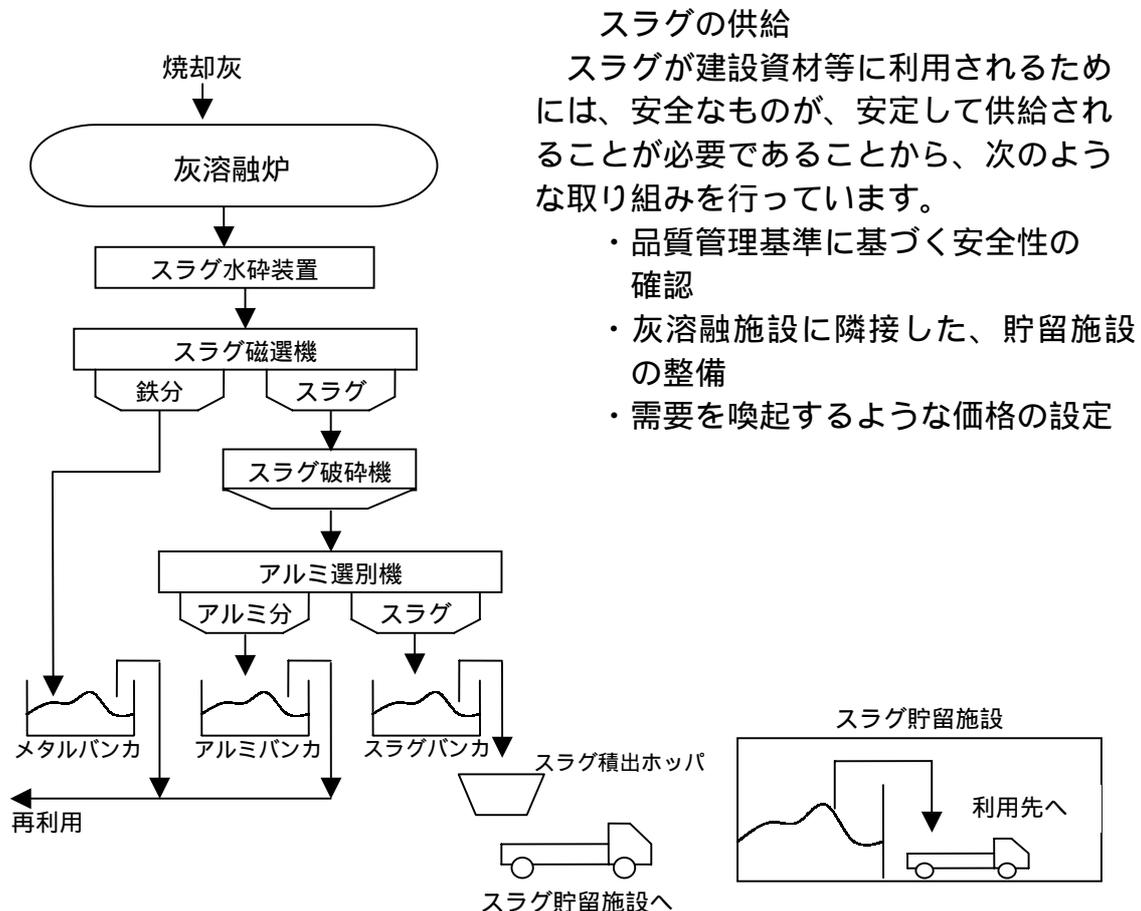
スラグ利用推進

スラグの全量有効利用に向けて、現在、次のような取り組みを行っています。

- ・当組合が行う工事等における積極的な利用
- ・各区発注する工事等における利用の働きかけ
- ・国、東京都、民間事業者等への利用の働きかけ

この他、平成16年度は、スラグPRコーナーの設置や、埋戻材としての公的機関による評価など、用途開発への取り組みも、積極的に行っています。

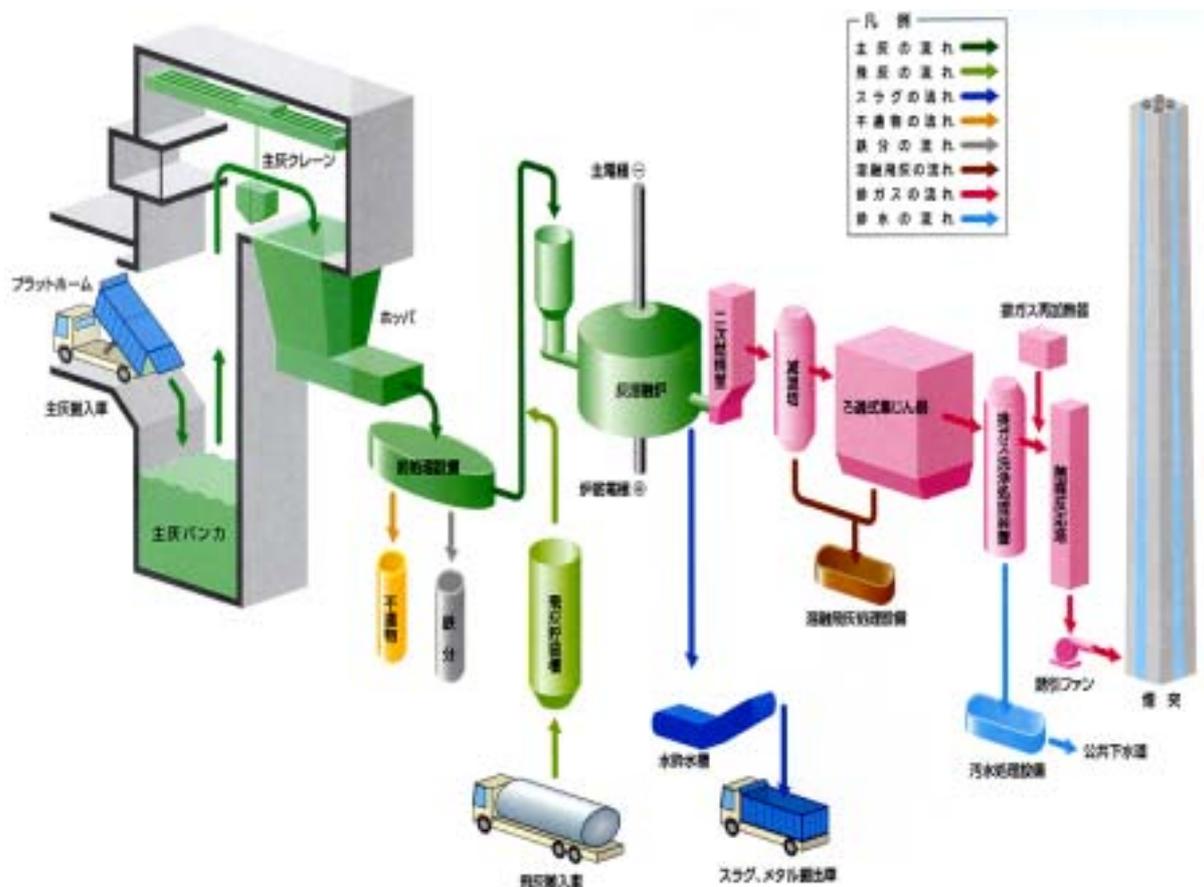
灰溶融スラグ利用の流れ



(5) 中防灰溶融施設の概要

所在地	江東区青海二丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
工事期間	平成15年6月から平成18年12月
稼働予定	平成18年12月
施設規模	400t/日（100t/日×4基）
溶融方式	電気加熱式（プラズマ式溶融炉）
運転計画	1日24時間の連続運転
搬入量	467t/日（焼却灰及び飛灰、週6日搬入）
建築面積	約12,100㎡
工場棟	鉄筋鉄骨コンクリート造り、地上6階・地下1階
煙突	高さ 約80m

中防灰溶融施設のしくみ



(6) 飛灰搬出設備整備の概要

飛灰搬出設備とは

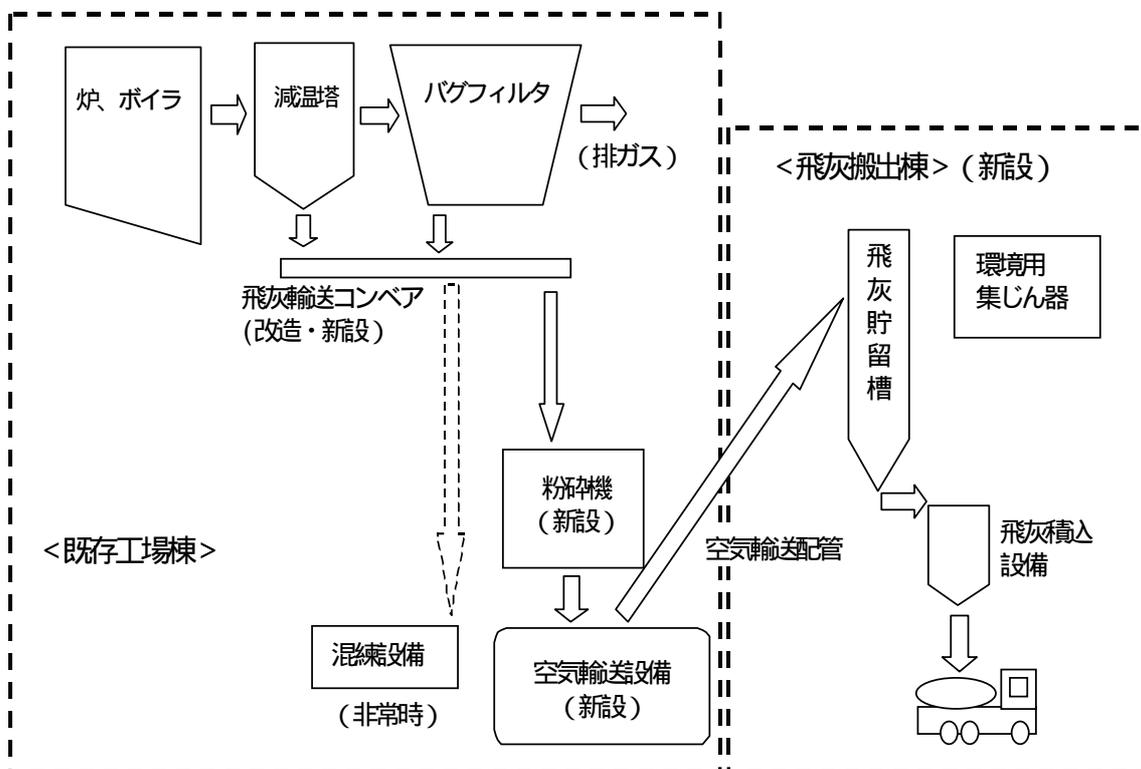
飛灰は、集じん灰及び減温塔等で捕集された“ ばいじん ”の総称で、この飛灰を灰溶融施設へ搬出するために、飛灰専用運搬車(タンクローリー)に積み込む設備が、飛灰搬出設備です。

運搬車に積み込まれた飛灰は、灰溶融施設でスラグ化し、有効利用されます。

16年度整備工場

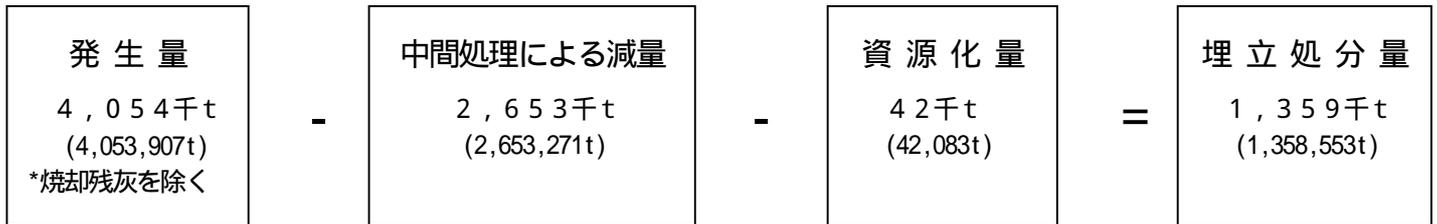
- ・大田清掃工場(第二工場)
- ・目黒清掃工場
- ・有明清掃工場
- ・江戸川清掃工場
- ・墨田清掃工場
- ・北清掃工場
- ・新江東清掃工場
- ・港清掃工場
- ・中央清掃工場
- ・千歳清掃工場(基本設計)

イメージ図



[参考図]

平成 16 年度 ごみの流れ (予算編成時の集計年量による)



《発生》

《中間処理》

《最終処分》

